



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

質疑應答. 地球 1929, 11(3): 239-240

ISSUE DATE:

1929-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183565>

RIGHT:

紀層中に含有されてゐる。

高温、多濕であるからこの方面の發展は十分可能性があるが現在十分な手が届かないのである。従つて未だ大量生産農産物は少いが就中最も重要な産物はサゴ、米、胡椒、ゴム、コブラ、カツチ等の農産物、石油、燕巢等である。

護謨栽培 南洋馬來半島等と共に重要な護謨栽培地で邦人の之に従事するものが非常に多い。千九百廿四年に於ける貿易中護謨は輸出中第一位を占め總てを合せて約九百三十萬弗に及んでゐる。

サゴ サゴは本地方の特産物で各地至る所に栽培せられるが其の精製は首府クチン(サラク)で行はれ製品は新嘉坡に輸出する。而して其の栽培は多く馬來人であるが其の製粉並に貿易は一切支那人の活動舞臺である。千九百廿四年の貿易金高は約二百萬弗である。

其他農産品に屬するもので重要輸出高を示すと胡椒(七十萬弗)である。胡椒も亦本地方の特産物の一つで白胡椒と黒胡椒の二種類がある。十數年前迄は本地方の重要生産品であつたが護謨栽培に壓倒され一方害虫の損害甚大で今は昔の面影を残すに過ぎない。尚カツチ(六十一萬弗)コブラ(十四萬弗)檳榔子實、藤、等が重要貿易品である。

鐵産物は 石油が第一で同じく一千九百二十四年度の貿易状況はベンザン(一千百萬弗)燈油(六百三十萬弗)原油(百八十八萬弗)總計二千萬弗に及び總ての貿易品の首位に在る。其

他油類に液體燃料(四百五十萬弗)等を舉ぐべきである。

其他本地方有名な特産品たる燕巢は、支那人の最も珍重する食料品で海岸の險崖に巢作つた海草類の巢で、採取して支那に賣出される。輸出年額約十二三萬弗に及ぶ。

サラクに於ける邦人

前述の通り本地方に於ける邦人は主として護謨栽培で千九百二十八年一月に於ける邦人の護謨栽培面積は、租借面積七千三百八十五エーカー、開墾植付面積四千四百八十三エーカー、目下の生産面積は二千六百九エーカーに及び主としてサラク市附近に多く住し在留邦人の數は男五十二名、女三十八名子供二十五名合計百十五名で其の七割は護謨栽培に従事してゐる此等の多くは資本植栽でなくて殆ど總てが自己努力の結果から生じた裸一貫式の移民で基礎の不安定と支那人の活動侵蝕は邦人移民の活動力を限定してゐる。故に今後同地に於ける邦人の發展はどうしても或程度の資本移民でなければならぬ。(KY生)

## 質疑應答

問 ホンゲイ無煙炭 京都 山名生

答 ホンゲイとは鴻基といふ地名の支那讀である。東京灣岸海防の東北にある、炭田地である、この無煙炭の質は東洋第一と稱せられ、一九二七年初頭に於て一比弗方騰貴し塊炭小及塊炭大の賣價は夫々十一比弗及十二比弗となれり、一

九二七年中の石炭販賣高は八五七、〇〇〇噸にして前年の六六八、一〇〇噸に比して却て二割八分四厘を増加せりといふその西貢市場に於ける石炭卸賣値段左の如し

ホンゲイ煉炭

二三、〇〇比弗

ホンゲイ塊炭小

一六、〇〇

蘭領東印度有烟炭(パモーカーン)一六、五〇

日本有烟炭

一七、〇〇

ホンゲイの無烟炭を採掘する會社はSociété des Charbonnages d'Along et Dong-Dang にし、一九二六年中には直徑三、一〇米の堅坑百五米を穿ちて既知の六鐵層を開くべき準備をなし、完成の上は一日二百五十噸を出炭すべしと稱せらる。この石炭の優良なるは他區のものに比して熱度高く、即ち他區のものは増塙内に於て一、四二〇及一、四四〇度以下の温度に於て灰となるに對し、このホンゲイ炭は一、五〇〇度以上の温度に達せしむる點にありて礦石分解用として現に Quanten 亞鉛製煉所に於て利用されつゝあり。

問 サイザル麻の栽培について

大 阪

S 生

答 サイザル麻は龍舌蘭よりとる強靱なる纖維で紐又は綱の製造に用ひられ、又アンペラ其他の布の製造原料となる。海水に對する抵抗力無き故に、船舶用にはならぬ。用途は廣い。龍舌蘭は主として、不毛の如く見ゆる熱帶地方に生産し石灰質の乾燥せる土地に最適すと雖も、石灰質ならず又濕氣

多き土地でも出来る。一年一米半乃至二米迄の雨量には堪へる。その生命は七年乃至十二年。ユカタン半島では十五年以上の生命を保つ。植付後四五年で採集しはじめ、四ヶ年間位はつゞける。この蘭一本から前後通じて百五十葉乃至二百葉とれる。六年目に最優良の葉が出て、長さ一米半乃至二米、根元の巾十五釐乃至二十釐、重さ六百瓦から一匁になる。纖維は重さの四％前後で、採集最初の年は一ヘクタールにつき二百五十匁乃至三百匁に達する。纖維をとつた残りの葉かい葉肉は九十％以上、腐敗し易い、肥料にするが、もし設備さへよければ、アルコールの原料になる。

メキシコでは土人はこの葉肉を醗酵せしめて、「プルカ」といふ一種の燒酎をつくる。佛國ではこの葉肉から自動車用のアルコールをつくることに成功した。

サイザル麻の主産地はメキシコで、現在年額十五萬噸、北米にて消費される、米國はハワイ、キューバ、中米諸國、英國はトリニダード、ジャマイカ、バアマ、和蘭はジャバ、スマトラ、獨逸は東アフリカに資本を下してゐる。埃及印度アルセリヤ、スダン、葡領東アフリカ、モザンビーク等にて相當に栽培されるサイザル麻の消費は目下年額三十五萬噸であるが、前途は益々有望である。モザンビーク植民地では、その適地があるので、栽培廣く行はれ、英領ニヤサランドでも一萬八千町歩からの麻園がある。(F)